

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅱ Independent Living Skills Ⅱ			ナンバリング No.	J1-008		
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p>日常生活の基本行動となる移動の意義や目的、利用者のアセスメントについて学習し、移動が障害されることによる影響を理解する。そして、利用者の状況に応じた、安全で的確な移乗、移動技術を習得する。また、適切な福祉用具の活用により、生活領域の拡大および自立に向けた介護について考えていく。</p> <p>①日常生活における移動の意義を理解し、障害されていることの不自由さを説明できるようにする。 ②基本的な移乗・移動技術を習得できるようにする。 ③移動に関するアセスメントを説明できるようにする。 ④自立支援に向けた福祉用具を適切に選択し活用できるようにする。</p>						
授業の方法	演習が主となる授業である。教員がデモンストレーションを行った後、グループに分かれて練習する。利用者役と介護者役の両方を体験し、援助時の留意点を考えながら基本技術を習得できるようにする。単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会にする。						
学習成果	L01	日常生活における移動の重要性を説明することができる。					
	L02	移動に関する基本的な技術を習得し、福祉用具の適切な活用により、日常生活の拡大を図ることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。小テスト(実技試験)の結果は、評価点やコメントを記入した評価表を返却する。返却時は解説も行う。						
教科書/参考図書	①最新・介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術Ⅰ」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。なお、授業時間以外の介護実習室使用に関しては別途指示する。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。	20			
レポート/作品	①安楽な体位について(生活支援技術マニュアルP.145) S 評価:学習内容や体験をもとに、具体的にまとめている。安楽な体位への援助を考えられている。 ②演習の振り返り(生活支援技術マニュアルP.143) S 評価:演習内容を踏まえ、利用者役・介護者役両面からの学びを記述している。		20		
発表					
小テスト	第12回目に車いすへの移乗介助の実技試験を行う。安全・安楽に配慮し、根拠に基づいた介護が実施できていること。		20		

試験	移動の意義と目的、移乗・移動における介護技術の基本的視点、安楽な体位、移乗・移動における介護技術、道具・用具の活用方法、他職種の役割と協働について理解できている。		40		
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 日常生活における移乗・移動の意義と目的【講義】
	事前・事後学習	テキスト P84～88 を読む。廃用症候群(生活不活発病)の概要をノートにまとめる。
2	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法① 基本体位、良肢位【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P145～147 を読み、体位の種類、状態、特徴を覚える。テキスト P98 を読み、良肢位について説明できるようノートにまとめる。
3	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法② 安楽な体位【演習】(レポート① 提出:第4回)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P145～147 を読み、安楽な体位への援助方法を覚える。レポート①を作成。
4	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法③ ボディメカニクス
	事前・事後学習	テキスト P91・92 を読み、ボディメカニクス 8 つの原理のポイントをノートにまとめる。
5	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法④ 上方移動、水平移動、体位変換、端座位【演習】
	事前・事後学習	テキスト P93～96 を読む。生活支援技術マニュアル P20～24 を読み、手順や根拠、留意点をノートにまとめる。実技の反復練習を行う。
6	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法⑤ 車いす【演習】(レポート② 下部のみ記入)
	事前・事後学習	テキスト P146～182 を読み、介助方法と留意点をノートにまとめる。レポート②を作成。
7	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法⑥ 端座位、移乗(一部介助・全介助)【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P25～27 を読み、手順や根拠、留意点をノートにまとめる。練習用チェックリストを確認しながら、実技の反復練習を行う。
8	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法⑦ 端座位、移乗(一部介助・全介助)、ストレッチャーへの移乗【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P23～29 を読み、手順や根拠、留意点をノートにまとめる。練習用チェックリストを確認しながら、実技の反復練習を行う。
9	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法⑧ 移動に関する福祉用具(杖、歩行器等)種類と使い方、歩行介助(視覚に障害のある人の歩行介助を含む)【演習】
	事前・事後学習	テキスト P135～145 を読む。歩行に関する福祉用具の使い方をノートにまとめる。
10	授業内容	自立に向けた移動の介護の技法⑨ 片麻痺体験【演習】(レポート② 提出:第11回)
	事前・事後学習	利用者介護者の両面から支援方法を考え、ノートにまとめる。レポート②を作成。
11	授業内容	移乗・移動に関する生活支援技術のまとめ【演習】
	事前・事後学習	実技試験に向けて、練習用チェックリストを確認しながら、3回以上、実技を行う。実施後はチェックリストに練習日、自己評価を記入する。
12	授業内容	移乗・移動に関する生活支援技術習得の確認・振り返り 小テスト【実技試験】
	事前・事後学習	実技の自己評価表を記入する。実技試験を振り返り、不十分だった点やできなかった点を中心に、生活支援技術マニュアルを読み返す。
13	授業内容	褥瘡とその予防 同一体位による弊害、褥瘡の原因と予防【講義】
	事前・事後学習	テキスト P124～127 を読み、褥瘡の原因、好発部位、予防方法をノートにまとめる。
14	授業内容	移乗・移動に関するアセスメント【講義】
	事前・事後学習	サルコペニアとフレイルについて調べ、ノートにまとめる。
15	授業内容	他職種との連携、福祉用具の意義と活用、生活領域を拡大するための工夫【講義】
	事前・事後学習	テキスト P189～192 を読み、他職種の役割と連携のあり方をノートにまとめる。